



## 次世代へ住みよい富士市を 「富士30年構想委員会・分科会が発足」

10月21日 長期的なまちづくりの将来像として、富士市の今後30年間を考えていく「富士30年構想」。この構想の検討を進めるため、専門家や市民らで構成される富士30年構想委員会と4つの分科会を設置。その初会議がロゼシアターで開かれました。

市長が、委員会委員に20人、分科会委員に32人を委嘱。委嘱状交付後、市長は、「30年後、次世代の子供や孫たちにどんな街を残すのか、住みよい快適なまちづくりするにはどうしたらよいのか、大きな視点に立って考えてほしい」とあいさつ。その後、構想の考え方や現状の説明や、活発な意見交換が行われました。

この構想は、今年度と平成7年度の2カ年をかけて策定。8年度に、構想を発表します。また、この構想は、第三次富士市総合計画「ふじ21世紀プラン」の後期計画や、次の総合計画に反映していき、構想の実現に努めていきます。

## 開園に向けて、いよいよ工事がスタート 「富士山こどもの国整備工事の安全祈願祭」

10月31日 市内勢子辻地区にできる「静岡県富士山こどもの国」の整備工事の安全祈願祭が、現地で行われました。この祈願祭には、石川知事や市長など関係者約50人が出席し、工事の安全を祈願しました。

富士山こどもの国は、次代を担う子供たちが、雄大な自然の中で、生命のとうとさや自然の厳しさを学び、夢や冒険心をはぐくむことができる場になるように、と建設される広域公園。草原の国、水の国、街、森の国、地の国、山の国の6つのゾーンで構成。平成11年に一部開園、16年度に全面開園の予定です。



### オーシャンサイド ナウ vol. ⑮



このコーナーでは、富士市の姉妹都市アメリカ合衆国オーシャンサイドの情報をお知らせしています。

今回は、9月に市主催の「富士市民友好の翼」に参加し、オーシャンサイドを訪問した鈴木和美さん（依田橋）に、貴重な体験を報告していただきました。

#### ＝ハーバー・デイズを満喫＝

今回、私たちの訪問のメインイベントの一つだったのが、「ハーバー・デイズ（港の日）」という、お祭りでした。会場には、市民の皆さんの

手づくりによる民芸品・工芸品のお店がぎっしりと立ち並ぶほか、オーシャンサイド周辺の市長さんたちによる市長対抗のヨットレースが行われるなど、大にぎわい。多くの人が集まる中、私たち一行も、自由にこのお祭りを満喫しました。

#### ＝言葉の壁を超えたふれあい＝

オープニングセレモニーでは、驚いたことに私たちのために特別な席が設けてあり、ボランティアの皆さんやテレビカメラ、そしてアメリカ海軍のすばらしい演奏が、私たちを歓迎してくれました。

中でも一番感激したのは、市民の皆さんが言葉の壁などを気にせず、ふれあってくれたことです。お祭り会場の中を移動するバスで、場を盛り上げようと歌を歌ってくれた陽気なおばさん（お姉さん？）たち。昼食のときにジェスチャーを交えながら世間話をした皆さん。笑ったり、同情したり、同情されたり…。今でもあのときの情景



「港の日」に学生と（中央が鈴木さん）

が、ありありと頭に浮かんできます。

太平洋を挟んで向かい合っている富士市とオーシャンサイド。気候や風土、文化の違いはあっても、じかにふれあうことによって、人と人は温かく理解し合えるものだということを実感しました。特にこの「富士市民友好の翼」では、市庁舎や学校の訪問など、普通の旅行ではできない貴重な体験をすることができ、とても勉強になりました。参加することができて、本当によかったと思います。